

農福連携で労働力不足を解消

ゆめファーム兵庫六甲はぜたに（神戸市）



高度環境制御栽培施設



古くなった下葉を摘み取る「葉かき」作業

経緯

- ・JA兵庫六甲の子会社ジェイエイファーム六甲では、2018年に開設した高度な環境制御システムを備えた「ゆめファーム兵庫六甲はぜたに」（ハウス4棟（各3000㎡）1.2ha）で、トマトの養液栽培に取り組んでいる。
- ・コロナ禍をはじめとした労働環境の変化により、労働力の確保が課題となっていたところ、以前から特別支援学校の生徒を授業として週2回受け入れていたという下地もあり、農福連携に着目。
- ・昨年10月に福祉事業所の支援員向けの説明会を開催。その後インターンシップを開始し、最終的に就労継続支援A型とB型の2か所の福祉事業所と委託契約を締結。

取組内容

- ・作業内容は、古くなった下葉を摘み取る葉かき作業と、摘み取った葉を集めて捨てる搬出作業。
- ・作業に当たっては、まずは福祉事業所の支援員に作業内容を丁寧に説明した上で作業内容について、十分理解していただくことが重要。そうすることで、事業所利用者への作業の指導から水分補給や休憩のタイミングまで一貫して支援員に任せることができる。
- ・作業委託をしてから半年足らずではあるが、思っていた以上に助かっている。今までは収穫が増える時期には、葉かきなどの管理作業に手が回らなくなっていたので、作業委託することにより収穫作業に専念できるようになった。

今後の展望等

- ・4月から作業のバリエーションを広げて、事前に、写真と現物によりトマトの収穫適期の色を学習してもらった上で、A型の福祉事業所に収穫作業もお願いするようになった。
- ・現状、労働力不足に対応できているので、今のままの契約が続いてほしい。
- ・作業台車やはさみを追加し、作業効率を図りたい。